

2019 年度 都立府中東高校 BOXING部

●2019. 5. 12 神奈川県武相高校（神奈川県練習会）

関東大会を前に武相高校にお邪魔しました。この日は神奈川県の高校の練習会を実施するという
とで、顧問の梶田先生からお誘いいただき参加させていただきました。

関東大会に出場する天野が体調不良で欠席したことは、梶田先生からも「残念」との一言。自分の
実力を図るいい機会。特に普段手を合わせない、同じ高校生と手を合わせることで一番の練習となりま
す。練習に参加できる体調管理の大切さがわかります。

No	階級	赤	青
1		山中	門本
2		堀江	栗原
3		萩原	戸村
4			篠田
5		北村	大舟
6		石井	上田
7		東部	藤田
8			長尾
9		曽我部	桜井
10		青藤	森田
11			宇村
12		河津	石橋
13		厚島	広瀬
14			大十
15		新井	中村
16		芦川	竹ノ内
17			
18			
19			



山中は相手との実力は同じようなもの。いい勝負を展開しました。しかしながら普段から課題とする大振りが
目立ち、チャンスを逃すシーンもありました。東京都高校選手権に向けて、明確な課題をクリアし、さらにオフ
ンス力を向上させる必要があります。

堀江は相手のプレッシャーに押され、下がらされることが目立ちました。スピードやひざの柔らかさは良いもの
があります。しかし逃げているようでは、勝ち引き寄せられません。先手を取って攻めながら相手の攻撃をディ
フェンスすることが必要です。

萩原は立ち位置がだいぶ良くなりました。しかし攻撃に単調なところが見られます。リズムを変えたり、フェイト
を入れたり、鋭い踏み込みを含めたオフェンスをどんどん強化したいところです。また前の手をもっと有効に使
えるように練習が必要です。

芦川は全国選手の浅野高校竹ノ内選手と対戦しました。2R目は竹ノ内選手のプレッシャーに下がらされるこ
とがありましたが、そこはキャリアの差。カウントを取られることなく成長を感じたスパーでした。ストレートの距離を
つかんできていると思います。全国選手にあれだけであれば今後も期待できると思います。

●関東大会報告。3人出場。2名優勝、3位1名。

6月1～3日まで神奈川県茅ヶ崎総合体育館で関東大会が開催され、本校からは3名が出場しました。
結果は以下の通りです。

●女子B級：田辺未樹 第3位 ●女子F e級：星野佳亜奈 優勝 ●男子W級B：天野亮太 優勝

田辺は全日本王者の吉澤選手(白鷗大足利)と対戦し、圧倒的なオフェンスにRSC負け。第3位。

星野は大塚選手(館林女子)との決勝戦。プレッシャーをかけて終始手を出し、1RでRSC勝。

天野は1回戦で今野選手(千葉経済大付属)と対戦、プレッシャーをかけたものの1Rにはチャンスを逃し、
2RでRSC勝。決勝では飯塚選手(前橋育英)と対戦、まだまだチャンスを逃しているシーンはありましたが、前
日より攻め、1RでRSC勝を収めました。

3人とも技術的な課題が大きく残っています。まずは強い気持ちを持つこと。「負けたらどうしよう」と負けるこ
とを考えて試合に臨んでいるようでは勝つことを考えている選手たちには勝てません。常に先手を取り、勝つこ
とを考えることは必須です。これから今以上にオフェンスを強化、練習に集中してほしいと思います。

さて、他の東京都代表はどうか。

女子では日体大桜華の篠原選手が無敗のまま王者、女子最優秀選手賞受賞。駿台の小林、成田両選手も関東王者となりました。5人出場
4人優勝。東京女子、強し！

男子は駿台学園が団体4位、駿台定時制が同5位と団体入賞。個人も優勝者多数。強いぞ！駿台！
駿台1年高橋昂選手は地元神奈川の選手に混ざって敢闘賞を受賞。日体大荏原高校の浅見選手もピンBで優勝しました。目黒日大の中
野選手は組み合わせ悪く、初戦で王者の平塚選手(作新学院)に敗北。決勝に上がれる選手であること
に変わりはありません。

これからも東京都の選手並びに本校部員の応援をよろしくお願いしま
す。五輪を含め、ごちゃごちゃしているアマボクシング界と高校ボクシング界が選手たちにとって今よりももっとも
とよくなることを祈ります！

